

平成30年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第1号（果樹）



かんきつは南部の以下の地域が対象です。
※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部
東部：三原市以东の沿岸島しょ部

平成30年5月16日 発表 広島県西部農業技術指導所
対象期間 平成30年5月16日～6月上旬

もくじ

- 1-(1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要） ……P1
- 1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細） ……P2～3
- 2 果樹カメムシの発生状況 ……P4
- 3 気象状況 ……P4
- 4 農薬危害防止講習会について ……P5
- 5 お知らせ ……P5

| 1-(1) かんきつ病害虫の現況と予報（概要） | | 5月10日～15日調査 | |
|-------------------------|------------|-------------|---|
| 病害虫名 | 現況 | 予報 | 防除上の注意事項（防除時期） |
| かいよう病 | 少 | やや少 | ◇昨年、かいよう病が発生したほ場では、5月下旬（新梢自己摘心期）に銅剤による防除を必ず行う。ただし、前作の着果過多等により樹勢が著しく低下している場合は、散布を控える。 ◇発病した葉や枝は伝染源となるので、随時樹上から除去する。 |
| ミカンハダニ | 少 | やや少 | ◇梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布する。 ◇冬季または春季にマシン油乳剤を散布していないほ場、および前年発生が多かったほ場では発生に注意する。 |
| そうか病 | 並 ※発生なし | — | ◇発病した葉や枝は伝染源となるので除去する。 |
| ナシマルカイガラムシ | 多 | — | ◇寄生された枝は、可能であれば除去する。 ◇6月中下旬（第1世代）に防除を行う（ヤノネカイガラムシも同時防除）。 ◇樹冠内部の主枝・枝にもしっかりと農薬がかかるように散布する。 |
| イセリヤカイガラムシ | 並 ※発生なし | — | ◇6月中下旬に防除を行う（他のカイガラムシ類と同時防除）。 |
| ルビーロウムシ ツノロウムシ | 並 ※発生なし | — | ◇7月中下旬に防除を行う。 |
| アブラムシ類 | 少 | — | ◇開花期防除を徹底する。 ◇開花期防除後も発生が多い場合は系統の異なる薬剤での追加防除を実施する。 |

1-(2)

かんきつ病害虫の現況と予報 (詳細)

かいよう病



現況 (平年比)

少

予報の根拠

(+) : 多発要因, (±) : 平年並, (-) : 少発要因

予報 (平年比)

やや少

- ◆巡回調査では少ない発生であった。
- ◆向こう1か月の降水量予報は、少ない20%、平年並み 40%、多い40%と予想されている(+)

防除上の注意事項

◆耕種的防除

- ・発病した葉や枝、果実は伝染源となるので樹上から除去する。
- ・強風雨で発生が増加するので、防風樹、防風ネットを整備する。

◆農薬による防除

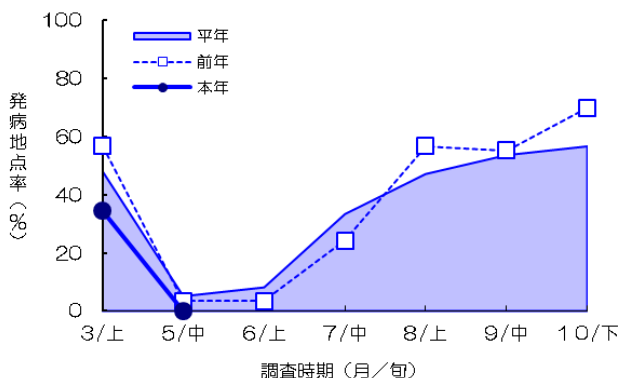
- ・ネーブルやレモン、はるみ、せとか等、かいよう病が発生しやすい品種は、5月下旬 (新梢自己摘心期) に銅剤による防除を行う。

◆銅剤散布にあたっての注意事項

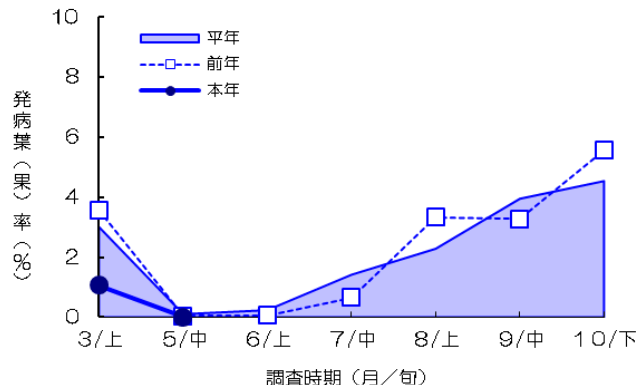
- ・前作の着果過多等により樹勢が著しく低下している場合は、散布を控える。
- ・高度精製マシン油乳剤との散布間隔は14日以上あける。
- ・マンネブ剤、マンゼブ剤とは混用しない。これらの剤との散布間隔は7日以上あける。
- ・無機銅剤 (コサイド剤など) の散布を行う際、クレフノン (希釈倍数: 200倍) を加用する。
- ・高温時に散布を行うと薬害が発生しやすいので注意する。

巡回調査データ


かいよう病発病地点率



かいよう病発病葉 (果) 率

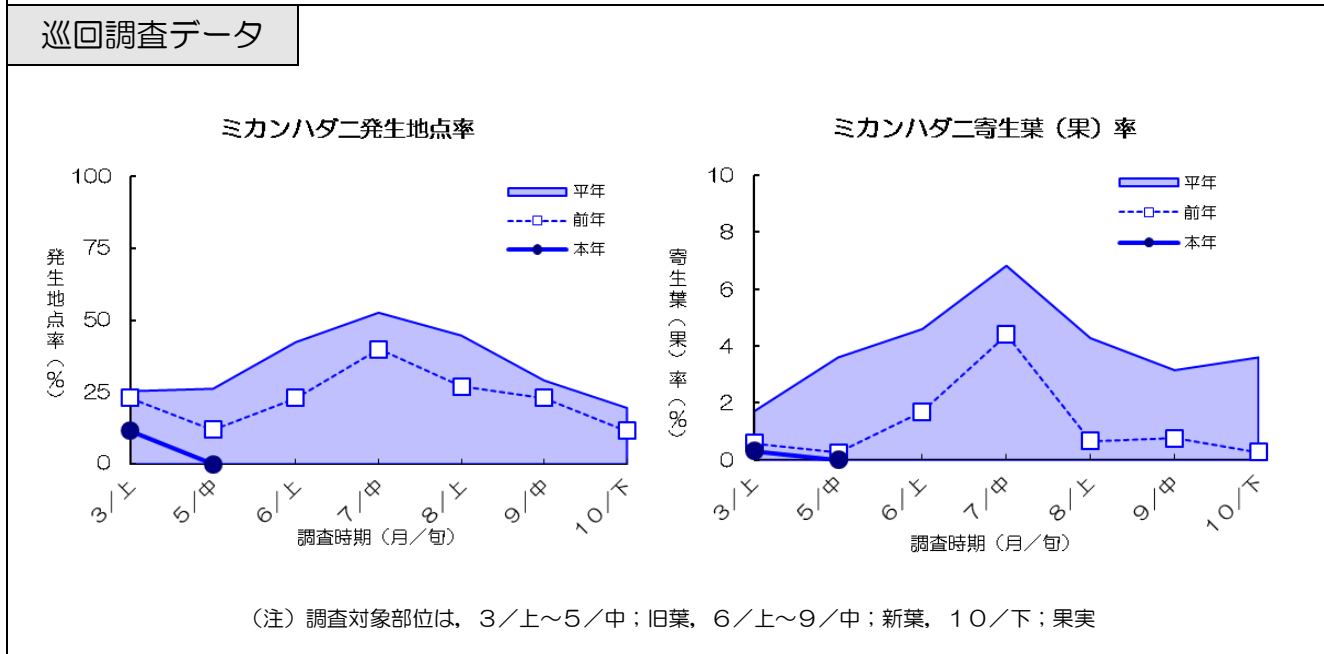


(注) 調査対象部位は、3/上:旧葉、5/中~7/中:新葉、8/上~:果実

| | | |
|--|---------|--|
| ミカンハダニ  | 現況(平年比) | 予報の根拠 (+:多発要因, (±):平年並, (-):少発要因) |
| | 少 | |
| | 予報(平年比) | ◆向こう1か月の気温予報は、低い10%、平年並20%、高い70%(+)、降水量予報は、少ない20%、平年並40%、多い40%と予想されている(-)。 |
| | やや少 | |

防除上の注意事項

◇梅雨明け後の多発を予防するため、6月中下旬に高度精製マシン油乳剤を散布する。
 ◇冬季または春季にマシン油乳剤を散布していないほ場、および前年発生が多かったほ場では発生に注意する。



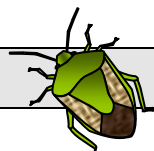
【発生量について】

「予報」「現況」は、「多、やや多、並、やや少、少」の5階級に区分しています。区分の方法は、原則として、過去10年間の同時期の調査結果の数値を、発生が多かった順に並べ、相対比較しています。

「多」 : 1番目(最多年)と同程度以上
 「やや多」 : 2~3番目と同程度
 「並」 : 4~7番目と同程度
 「やや少」 : 8~9番目と同程度
 「少」 : 10番目(最少年)と同程度以下

2

果樹全般 ーカメムシの発生に警戒をー



広島県では県内の7地点で、チャバネアオカメムシ集合フェロモントラップによる誘殺状況を調査しています。今日現在、県内中北部から南部でも誘殺が確認されています。

今後の情報に注意するとともに、ほ場内をよく見回り、飛来が認められた場合は速やかに防除を実施してください。

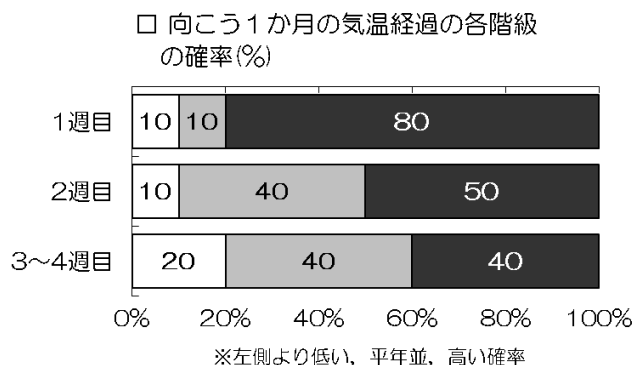
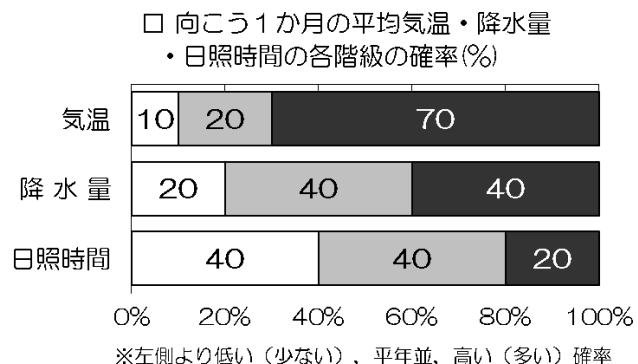
3

気象情報

中国地方1か月予報

(広島地方气象台5月10日発表、5月12日から6月11日までの天候見通し)

- 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- 向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。
- 週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。



4

農薬危害防止講習会について

広島県では、農薬による危害の未然防止を図るため、6月1日から8月31日までの3ヶ月間を農薬危害防止の重点期間と定め、農薬販売者及び農薬使用者に対する関係法令等の周知や農薬の適正販売、適正使用及び保管管理のさらなる周知・徹底を図ることとしています。

この運動の一環として、次のとおり農薬危害防止講習会を開催しますので、御参加ください。

| 月 日 | 時 間 | 場 所 |
|----------|---------------------|--|
| 6月 5日(火) | 13:30 ~ 16:10 | 農業技術センター 1F 講堂 (東広島市八本松町原 6869) |
| 6月12日(火) | | 呉市きんろうプラザ 3F 大ホール (呉市中通 1-1-2) |
| 6月19日(火) | | 広島県情報プラザ 2F 第1・第2研修室 (広島市中区千田町 3-7-47) |
| 6月26日(火) | | 備後地域地場産業振興センター 4F 大会議室 (福山市東深津町 3-2-13) |
| 7月 3日(火) | | 十日市きんさいセンター 1F ホール (三次市十日市南 1-2-18) |

(注)

- 受付は、13時から13時30分までです。
- 6月5日の東広島市会場は駐車場がありますが、その他4会場については駐車場を確保していないため、車での来場は控えてください。
- 講習会の問合せは、県庁薬務課(082-513-3222)、農業技術課(082-513-3559)、または各保健所(支所)へお願いします。(各会場では対応していません。)

5

お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索



<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151 東広島市八本松町原6869
電話：082-420-9662(直通)